

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報(2021年9月)

【内政】

- 経済・財務省により「2022－2024経済・財政計画書」が公表され、国家開発計画第2フェーズ(PAG2)は、生活環境の改善、飲料水アクセスの拡大、教育、保健、社会保障、雇用促進等の社会分野に予算が重点的に充てられることが明らかとなった。(9日、L'Économiste 紙)
- 22日、タロン大統領は、大統領官邸においてヤイ・ボニ前大統領と約1時間会談を行った。会談後、タロン大統領は充実した会談だったことを強調し、ヤイ前大統領はベナン国民全体に関わる利害について協議したことを述べた。(23日、La Nation 紙)

【外政】

- シャビ・タラタ副大統領は、第76回国連総会においてタロン大統領のメッセージを発出した。その中で、あらゆる分野での近年のベナンの活動の進展について述べ、国連人権理事会理事国に立補者していることを発表した。(28日、La Nation 紙)

【治安・保健】

- 12日、ベナン政府は新型コロナウイルスに関する統計情報を公開し、累積感染者数が21,450人(うち、17,294名治癒、4,010名治療中)、累積死者数が146名に達したことが明らかとなった。(16日、Le Matinal 紙)
- 23日、ベナン政府はCOVAXによりファイザー製新型コロナワクチン332,280回分を受領した。(24日、L'Économiste 紙)

【経済】

- 14日、ベナン駐ベナン中国大使とアベノンシ外務・協力大臣は、大容量通信ネットワークの敷設に係る借款契約(約220億フラン CFA、約44億円)の署名式を行った。(15日、La Nation 紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- 1日、閣議決定により国家女性機関が創設され、元国民議会議員で元日・ベナン友好議連会長クロディーヌ・プルデンシオ女史が代表に任命された。(2日、La Nation 紙)
- 3日、ワダニ経済・財務大臣の父で経済・社会評議会の副議長のネストール・ワダニ氏が逝去した。(6日、La Nation 紙)
- 8日、新興ベナン党(FCBE 党)党首で野党首領のポール・ウンペ氏は、サッカーラフィア選挙評議会議長と会談し、2023年に予定されている国民議会議員選挙が包摂的で透明な形で実施されるよう要望を出した。(9日、L'Événement Précis 紙)

- ・ 経済・財務省により「2022－2024経済・財政計画書」が公表され、国家開発計画第2フェーズ(PAG2)は、生活環境の改善、飲料水アクセスの拡大、教育、保健、社会保障、雇用促進等の社会分野に予算が重点的に充てられることが明らかとなった。(9日、L'Économiste 紙)
- ・ 17日、ウンベジ政府報道官は、タロン大統領第2期目の政権が発足してから100日経過したのを契機に記者会見を開催し、社会分野(保険、雇用促進等)の政策が進んでいることをアピールした。(21日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 21日、コトヌ市の国際会議場において、全国の市長を集めた集会が開催され、タロン大統領は地方分権の推進について語った。(22日、La Nation 紙)
- ・ 22日、タロン大統領は、大統領官邸においてヤイ・ボニ前大統領と約1時間会談を行った。会談後、タロン大統領は充実した会談だったことを強調し、ヤイ前大統領はベナン国民全体に関わる利害について協議したことを述べた。(23日、La Nation 紙)
- ・ 29日、政府は2022年度予算案を国民議会に送付することを閣議決定した。予算総額は、約2兆5,412億フラン CFA(約5,000億円)に上る。(30日、La Nation 紙)

【外政】

- ・ 1日、フランコフォニー国際機関のルイズ・ムシキワボ事務総長は、アベノンシ外務・協力大臣と面会し、同機関とベナンの協力関係について協議した。(2日、La Nation 紙)
- ・ ベナン政府は、世界各国に67名の名誉領事を新任した。地域ごとの配置は、南北アメリカ8名、ヨーロッパ26名、アフリカ23名、アジア10名。(14日、La Nation 紙)
- ・ 17日、ECOWAS 臨時首脳会談に出席したアベノンシ外務・協力大臣は、ギニア及びマリの政情不安定について決定された制裁維持の方向性につき説明する記者会見を行った。(20日、La Nation 紙)
- ・ 17日、パスカル・エス共和国オンブズマンは、ハートライフ駐ベナン EU 大使及びマホンデ駐ベナン UNICEF 代表を招き、ベナンの発展と両者の関係強化について意見交換を行った。(20日、L'Économiste 紙)
- ・ 23日、タロン大統領は、マホニー駐ベナン米国大使及びタウンゼント・アフリカ司令官と大統領府において面会し、安全保障について協議した。(24日、La Nation 紙)
- ・ シャビ・タラタ副大統領は、第76回国連総会においてタロン大統領のメッセージを代読した。その中で、あらゆる分野での近年のベナンの活動の進展について述べ、国連人権理事会理事国に立候補していることを発表した。(28日、La Nation 紙)
- ・ 23日、アベノンシ外務・協力大臣は、独仏主催の多国間主義連盟大臣級会合に出席し、新型コロナウイルスワクチンへのアクセス促進を訴えかけた。(24日、La Nation 紙)

【治安・保健】

- ・ 8月よりベナン南部で広がっている鳥インフルエンザに対応すべく、畜産業者向けの緊急対応を開始した。(3日、La Nation 紙)

- ・ 4日、モノ県アティエメ市において洪水が発生し、モノ川の水位が7mに達した。この洪水により農作物及び住民への被害が発生した。また、9月中にグランポポ市、ロコサ市、フエヨベ市等でも洪水が発生し、推定7万人に被害が拡大した。(6日、La Nation 紙)
- ・ 8日、コトヌ市ギンコメ地区において、共和国警察と強盗容疑者との銃撃戦が発生し、10名の容疑者が射殺された。(9日、L' Evénement Précis 紙)
- ・ 10日、共和国警察はパラク市ニマ区において、バイクを盗んだ強盗3名を射殺したことを公表した。(13日、La Nation 紙)
- ・ 12日、ベナン政府は新型コロナウイルスに関する統計情報を公開し、累積感染者数が21,450人(うち、17,294名治癒、4,010名治療中)、累積死亡者数が146名に達したことが明らかとなった。(16日、Le Matinal 紙)
- ・ ナイジェリア国境管理当局は、ベナン・ナイジェリア間の密輸を防止すべく、国境にドローンを配備し、国境を監視することを発表した。(22日、L' Économiste 紙)
- ・ 22日時点で、新型コロナウイルスワクチン接種証明書を偽造した容疑で、約10名(看護師、助産師を含む)が逮捕されている。偽造証明書は5,000~25,000フランCFAで売買された。(22日、Le Matinal 紙)
- ・ 23日、ベナン政府はCOVAXによりファイザー製新型コロナワクチン332,280回分を受領した。(24日、L' Économiste 紙)

【経済】

- ・ 経済・財務省は、新型コロナウイルスの蔓延により打撃を受けた中小企業に対し、190億フランCFAの補助金を支出することを公表した。(8日、La Nation 紙)
- ・ 8日、政府はグロジベ経済特区の開発を進めるべく、水の自動供給システムの設置と住民立ち退き補償に関する閣議決定を行った。(10日、La Nation 紙)
- ・ 13日、ズマル・デジタル大臣は、パリにおいて3名のアフリカ閣僚らとともに大容量通信網の発展を目的としてフランス・デジタル当局との意見交換会を行った。(16日、La Nation 紙)
- ・ 14日、ペン駐ベナン中国大使とアベノンシ外務・協力大臣は、大容量通信ネットワークの敷設に係る借款契約(約220億フランCFA、約44億円)の署名式を行った。(15日、La Nation 紙)

【文化・その他】

- ・ 20日、ベナン全土の小中学校の2021-2022年度の新学期が始まった。(21日、La Nation 紙)